

平成28年度 英語が好きになる学校づくり 取組報告書

事務所名	宮古	学校名	宮古市立千徳小学校	TEL	0193-62-3934
------	----	-----	-----------	-----	--------------

外国語活動を通してコミュニケーションを楽しもう

【ねらい】

- ・外国語の体験を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- ・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。
- ・外国語活動の目指す授業のイメージを全職員で理解し、共有する。

【具体的な取組】

1 今年度の重点課題

- (1) 授業のイメージの確立。
- (2) 授業における指導の在り方。
- (3) クラブルーム・イングリッシュなど英語表現力の向上。

2 校内研修会の内容

担任の指導を中心とした授業づくり

(1) 理論研修

- ・基本的な授業展開
- ・教材、教具の工夫について
- ・中心となる活動（チャンツ、ゲーム、クイズなど）

(2) 授業実践

- ①英語科との関連をもたせて
- ②コミュニケーション活動を取り入れて
- ③活動の場を広げて
  - ・形態を工夫し、相手意識を重視して

(3) 公開授業

(4) まとめ

(1) 課題の共有

- ア コミュニケーションを充実させるための活動の工夫
- イ 活動と活動における振り返りの方法
- ウ キーワードの焦点化
- エ 活動へ価値付けをして広める工夫
- オ 学級集団として共有する活動の工夫

(2) 授業改善へ向けての取り組み

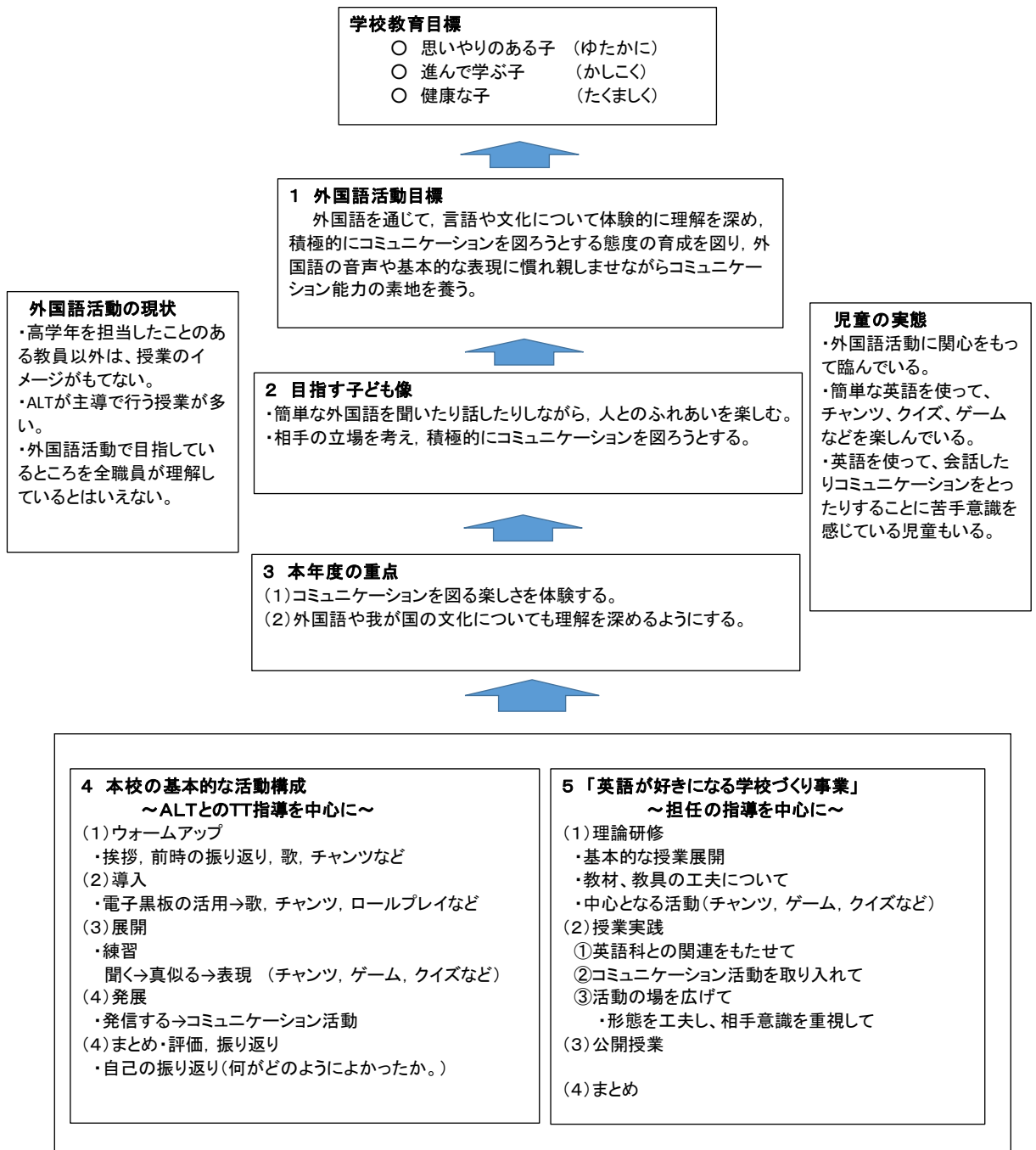
- 授業研後に事後研修会を行い、改善の具体案について話し合った。
- ア 展開の活動の吟味
  - イ 振り返りの視点の設定
  - ウ 一人一人の見取りの重点化
  - エ 集団を意識した活動の工夫

(3) 今後の課題

- ア 外国語活動と教科としての接続
- イ 担任とALTの指導体制の工夫
- ウ 小中連携について、内容や方法について具体的な実践の在り方



<カード交換>



評価の観点	評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話をよく聞こうとしている。</li> <li>・相手の質問に積極的に答え、伝えようとしている。</li> <li>・活動に進んで参加し、友達とかかわることを楽しんでいる。</li> </ul>
外国語への慣れ親しみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語のリズムを感じて、楽しく聞いたり、ロズさんだりしている。</li> <li>・簡単な英語表現を使いながら、ゲームやクイズなどを楽しんでいる。</li> <li>・簡単な英語表現を使って、相手とのやり取りを楽しんでいる。</li> </ul>
言語や文化に関する気付き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界には、様々な言語や文化があることに気付いている。</li> <li>・自文化と異文化との違い共通点に目を向けている。</li> <li>・マナーを意識して、コミュニケーションを楽しんでいる。</li> </ul>

### 3 実践

#### (1) 授業の在り方

- ・ALT中心の授業から担任中心の授業へ  
年間の中で担任が行う授業を4回位置付けた。

#### (2) 授業実践

回	◎目標・活動内容	指導いただいたこと
1	◎友達と好きな色や形を尋ねたり答えたりしようとする。 ・あいさつ ・色・形（フラッシュカード） ・歌 ・友達に尋ねる ・友達と応答をしながら、絵を作る。 ・振り返り	・コミュニケーションの設定の工夫 ・活動と活動における振り返りの方法 ・「覚える」より「慣れる」を重視した活動の工夫
2	◎身近にアルファベットがあることに気付き、聞いたり話したりして表現に慣れ親しむ。 ・あいさつ ・チャンツ ・アルファベット探し ・ポインティングゲーム ・歌 ・振り返り	・キーワードの焦点化 ・コミュニケーションを充実させるための活動の工夫 ・活動での児童の見取りの工夫
3	◎アルファベットを聞いたり話したりして、表現に慣れ親しむ。 ・あいさつ ・アルファベットチャンツ ・歌 ・アルファベットかるた ・キーワードゲーム ・振り返り	・同じ活動をしながらも価値付けをして広める工夫 ・一人一人が見える活動の設定 ・学級集団として気持ちを共有する活動の工夫




### (3) 公開授業の指導案

#### ア 目標

- ・ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【外国語への慣れ親しみ】

#### イ 本時の活動

	活動	○支援と留意点【評価】
導入 (5分)	1 あいさつ 2 チャンツ 3 キーワードゲームをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             いろいろなクイズに挑戦しよう。           </div>	○前時に使ったチャンツを使い、活動を想起させる。 ○ゲームを通して、新出語彙を想起させる。
展開 (35分)	4 色々なクイズをする。 ①シルエットクイズ ②スリーヒントクイズ 5 友達の持っているカードについて、インタビューをする。 	○表現に慣れ親しませるために、“What’s this?”を繰り返し使う。 ○絵カードを種類別に分けながら、黒板に提示する。 ○ヒントが広範囲なものから具体的なものになっていくよう留意する。 ○友達へのインタビューを通して“What’s this?” “It’s~.”の表現に親しませる。 ○自分と同じカードの友達を見つけるという目的を与えることで、必然性をもたせる。 ○「Hi!」や「Thank you.」等、コミュニケーションを円滑にする表現も使えるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             評価【外国語への慣れ親しみ】              ある物が何かを尋ねたり答えたりしている。           </div>
まとめ (5分)	6 活動を振り返る 7 あいさつ	○児童の活動で良かったところを認め、価値づける。

#### ウ 評価

- ・ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。【外国語への慣れ親しみ】

#### \*指導いただいたこと

- ・領域なので、担任として児童の個性の伸長や社会性の育成等目指す姿を明確にもつ。
- ・しっかりと規律が育っているところを大切にす。
- ・活動への集中を高めたり、注目させたりする手立てや工夫がとられている。

### 【成果】

#### 活動を通して

- ・コミュニケーションを育むために、活動に必要なことを吟味したこと
- ・児童が外国語を好きになり、児童が楽しいと感じて、積極的に活動に参加するようになったこと
- ・社会性や個性を大事にした授業の大切さを実感したこと

#### 学校として

- ・全職員が、外国語活動について授業のイメージをもつことができたこと
- ・低・中学年では、外国語活動の素地を作り慣れ親しむために活動時間を増やしたこと
- ・クラスルーム・イングリッシュの英語表現力が向上したこと
- ・よりよい授業を目指して、学団研において模擬授業を重ね授業作りをしたこと